



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-220/2025年9月27日
[技術の名称]	環境配慮型改質アスファルト防水工法 「ASFIT防水工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	七王工業株式会社

[技術概要]

本技術は、改質アスファルトルーフィングシート2層にて構成され、アスファルト防水熱工法に代わる工法で、一般平面部の第1層目として、裏面に粘着層がストライプ状に施された改質アスファルトルーフィングシートを常温工法で施工した後、第2層目の改質アスファルトルーフィングシート裏面及び1層目の改質アスファルトルーフィングシート表面に施された加熱溶融改質アスファルト層をバーナーによって溶融した改質アスファルトにて張付け積層する。



[開発の趣旨]

従来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてアスファルトルーフィング類を3~4層積層して防水層を形成する工法で、信頼性が高い反面、次の問題点がある。

(1) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙・臭いにより環境上の問題が発生することがある。

(2) ルーフィング類を3~4層積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多く作業効率に問題がある。

本技術は、改質アスファルトルーフィングシート1層目表面及び2層目裏面に加熱溶融アスファルトが施工されており、これをバーナーにて溶融し張付け積層する工法である。これにより、施工中に発生する煙・臭いの抑制につながるとともに、作業効率を改善し、さらには環境に対する影響の軽減を図ることを目的として開発を行った。

[開発目標および審査証明結果]

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

(1) 従来のアスファルト防水熱工法と比較して、少ない積層数で同等の防水性能を有する防水層を確実に形成すること。

(2) 「ASFIT防水工法」で施工することにより、従来のアスファルト防水熱工法と比較し製造及び施工時における二酸化炭素の発生量及び施工時における煙・臭いの発生が軽減され、周辺環境の改善が図られていること。

(3) 在来工法であるアスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数及び人工数の削減ならびに防水層の重量の削減により施工の簡素化が図られ、作業効率が向上すること。

[本技術の問合わせ先]

七王工業株式会社 営業部

TEL : 0877-62-0951

FAX : 0877-62-4927

技術紹介サイト

<http://www.zennichiasu.jp/>

